

消化器科

●概要

食道、胃、腸、肝臓、胆のう、膵臓といった消化器系に関する疾患の診療を行っております。

食欲不振、胸やけ、腹痛、嘔吐、下痢、下血など消化器症状のある方や、健診で異常を指摘された方（肝機能異常や、バリウム検査異常、便潜血陽性など）は、内視鏡検査、超音波検査、CT、MRI検査を行うことにより、正確な診断、治療を行っております。わかりやすい丁寧な診療と、苦痛の少ない内視鏡検査を心がけておりますので、お気軽に受診されてください。

●専門外来

消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医を中心とした専門外来を行っております。再診の方には予約表をお渡ししておりますので、受診の際にお持ちください。

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-----------------|
| 午前 | 小堀陽一郎 | 菰田 裕也 谷川 和史 | 小堀陽一郎 谷川 和史 | 菰田 裕也 | 小堀陽一郎 | 小堀陽一郎 ●日浅 陽一 |
| 午後 | 菰田 裕也 谷川 和史 | 小堀陽一郎 | 菰田 裕也 谷川 和史 | 小堀陽一郎 | 菰田 裕也 | — |

* ●は肝臓専門医の診察です。月2回の予約制外来になります。診察日のご案内、ご予約は、受付にお問い合わせください。

●検査

予約制で行っておりますが、緊急性がある場合は当日でも施行します。検査前に、現在服用中の内服薬や緑内障等の持病の有無を確認します。

【胃カメラ（上部消化管内視鏡検査）】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|-------|-------|---------------|-------|-------|---|
| 午前 | 谷川 和史 | 小堀陽一郎 | 菰田 裕也 林 未来 | 谷川 和史 | 菰田 裕也 | — |

- ・カメラを口または鼻から挿入し、食道、胃、十二指腸の観察を行います。

経鼻内視鏡検査は、先端部が 5~6 mm のカメラを鼻から挿入するため、検査中の苦痛が少なくなります。非常に細いため、治療には適さない場合があります、また鼻茸、鼻腔の狭い方など鼻からの挿入が困難な方もいらっしゃいますが、組織採取は可能です。口からの検査で苦しい思いをされたことのある方、これから検査を受けようと思っている方は、是非、経鼻内視鏡検査をお試しください。

- ・検査費用：観察のみの場合は、1割負担で約 1,500 円、3割負担で約 4,500 円になります。組織検査をした場合は、追加で費用がかかります。
- ・検査時間：前処置の時間を除くと 5~10 分程度です。
- ・検査当日は、食事を摂らずに来院していただき、検査後 1 時間は喉の麻酔が効いているため食事ができません。

【大腸カメラ（下部消化管内視鏡検査）】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|---|---|------------------------|-------|-------|---|
| 午後 | — | — | 菰田 裕也 谷川 和史 林 未来 | 杉下 博基 | 小堀陽一郎 | — |

- ・下剤で大腸をきれいにした後、肛門から内視鏡を挿入し、全大腸において、ポリープ、腫瘍、炎症、その他異常がないか直接観察する検査です。大腸癌早期発見のためにも、40 歳を過ぎたら、一度はすべき検査です。
- ・検査費用：観察のみの場合は、1割負担で約 2,000 円、3割負担で約 6,000 円になります。組織検査やポリープ切除等をした場合は、追加で費用がかかります。
- ・検査時間：おおよそ 20 分程度です。
- ・外来でも行える検査ですが、治療内容、患者さまの状態、希望によっては入院で検査を行います。ポリープ切除を行った場合は、3~5 日程度の入院が必要になります。

【大腸 CT (CT コロノグラフィー)】

当院の大腸 CT 検査は、大腸 CT 認定技師監修の下行っています。



《大腸 CT 検査とは》

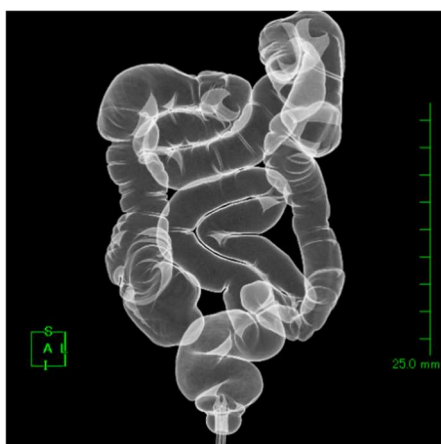
大腸 CT 検査とは、大腸に炭酸ガスを注入し腸管を膨らませた状態で CT 撮影を行い、3次元画像を作成し大腸の病変の有無を診断します。

検査時間は短く 15～20 分程度で午前中のうちには検査終了するため、病院での滞在時間が短くなっています。

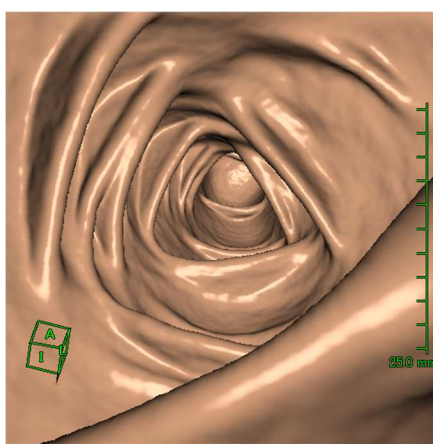
治療対象となる 5 mm 以上のポリープの診断能は、内視鏡検査と同程度であると多くの論文で報告されています。ただし、5 mm 未満の病変は、発見が難しい場合があります。

《大腸 CT 検査の特徴》

- ・前処置に使用する下剤の量が、約 200ml と少ない量で行えます。
- ・大腸を膨らませるのに炭酸ガスを使用するため、吸収が早く検査後の腹満は素早く改善します。
- ・内視鏡検査ではひだの裏など死角になる場合がありますが、大腸 CT 検査はひだの裏の観察に優れています。
- ・肝臓や腎臓といった大腸以外の腹部臓器の観察もできます。



仮想注腸像



仮想内視鏡像



仮想内視鏡像+冠状断像

《 大腸の画像検査 CT と 内視鏡検査 の比較 》

| | 下剤の量 | 大腸の裏側 | 5mm 以上の ポリープ 発見率 | 5mm 以下の ポリープ 発見率 | 大腸以外の 臓器の観察 | ポリープの 切除や 組織の採取 |
|-------|------|-------|------------------------|------------------------|----------------|-----------------------|
| CT 検査 | ○ | ○ | ◎ | △ | ◎ | × |
| 内視鏡検査 | △ | △ | ◎ | ◎ | × | ◎ |

大腸 CT 検査は、前日から検査食を摂っていただき、当日は朝食抜きで行う検査です。

平日の午前中に予約制で行っておりますので、お気軽に、消化器科医師または受付までお問い合わせください。